

シ ャ ッ プ

フェムテックで創る 健康課題の先にある 経済的効果と社会的インパクト

オンライン開催

基調講演

取組紹介

参加
無料



開催日時

2026/10/9 [金]

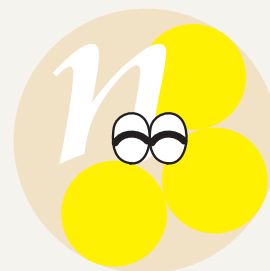
13:30～16:00

オンライン開催

下記 QR にてお申し込みいただいた方に、
後日オンライン参加用のアドレスをお送りします。

- ☒ 男女の健康の違いを知り、自分や身近な人の健康に役立つ知識を身につけたい方
- ☒ フェムテックや最新の健康トレンドを知り、これからの健康課題について考えてみたい方
- ☒ 性差を考慮し、誰もが働きやすい職場をつくりたい方
- ☒ 人材定着や職場環境づくりに関心のある方

こんな人におすすめ



*詳細は裏面プログラムをご覧ください。

参加申し込み方法



- ◀ こちらのQRを読み取り、
- ◀ 必要事項を入力のうえ
- ◀ お申し込みください。

URL: <https://forms.cloud.microsoft/r/RDWwrNcrkf>

申込〆切
10/4
[日]

【主催】北陸フェムテックネットワーク [事務局：一般財団法人 北陸産業活性化センター]
【後援】石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会、北陸経済連合会
【協力】中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 【お問合せ】北陸産業活性化センター 076-264-3001

HIAAC
THE HOKURIKU INDUSTRIAL
ADVANCEMENT CENTER

地域経済を動かす新たな力となる
北陸フェムテックネットワーク

健康課題の先にある経済的効果と社会的インパクト

2026/10/9 [金] 13:30～16:00 オンライン開催

プログラム（予定）

13:30～13:35（5分）

開会あいさつ：平田 貞代（北陸フェムテックネットワーク会長）

参加
無料基調
講演13:35～14:25
（50分）

ジェンダード・イノベーションのすすめ～「見えないバイアス」を可視化し、「知を整える」～



佐々木 成江 氏（東北大学 DEI推進センター 副センター長・教授、横浜国立大学 ISIセンター センター長・教授・学長特任補佐）

大学におけるジェンダーバイアスの解消に向けて、女性研究者の増加や両立支援、女性リーダー育成などの組織改革に力が注がれています。こうした「数を整える」「組織を整える」取り組みは極めて重要です。一方、健康・医療分野をはじめとする科学技術の研究や開発そのものに潜むジェンダーバイアスを是正する「知を整える」取り組みとして、「ジェンダード・イノベーション」という概念が欧米を中心に急速に広がっています。

また、近年では、性のみを考慮した分析だけではなく、セクシュアリティ、年齢、能力、人種、民族、地理的条件、社会経済状況などとの交差性を同時に考慮する分析の重要性も強調されています。本講演では、ジェンダード・イノベーションの具体的な事例や国内外の動向を紹介し、ジェンダード・イノベーションが拓く未来について考えていきます。

（ささき・なりえ）福井県出身。お茶の水女子大学理学部卒。東京大学大学院理学系研究科修士・博士課程修了。博士（理学）。お茶の水女子大学理学部助手、同大学特任講師、名古屋大学男女共同参画室特任准教授、同大学大学院理学研究科准教授、お茶の水女子大学准教授・学長補佐、同大学ジェンダード・イノベーション研究所特任教授、横浜国立大学学長特任補佐、東京大学大学院理学系研究科特任准教授を経て、2025年より東北大学 DEI推進センター教授、2026年より現職。専門は、分子細胞生物学、ジェンダード・イノベーション。内閣府男女共同参画会議計画実行・監視専門調査会委員、しおがま男女共同参画推進審議会委員長などを務める。

14:25～14:35（10分）

休憩

取組
紹介14:35～15:55
（各 20 分）
（計 80 分）ファシリテーター/
西根 英一

株式会社ヘルスケ
ア・ビジネスナ
レッジ代表取締役
社長、事業構想大
学院大学特任教
授、千葉商科大学
サービス創造学部
特命教授。北陸
フェムテックネッ
トワーク副会長。

～フェムテックは、どんな社会を夢見ているか？～

視点① 北陸地域におけるフェムテック産業クラスター形成の課題

松原 宏（福井県立大学 地域政策学部長・地域経済研究所長、北陸フェムテックネットワーク 副会長）

本報告では、国の「地域未来戦略」での産業クラスター計画を踏まえつつ、私たちが作成した北陸地域におけるフェムテック関連産業のポテンシャルマップを振り返り、今後の産業クラスター形成の課題を検討します。

視点② 経営の視点から考える「女性特有の健康課題」—北陸企業の実態調査にみるフェムテック活用可能性—

吉田 聡子 氏（一般財団法人北陸経済研究所 地域開発調査部 主任研究員）

私たちは北陸の企業経営者を対象に、経営における「女性特有の健康課題」への認識や取り組み状況に関するアンケート調査を実施しました。その調査結果をもとに取り組みの障壁を解消する一助として、企業におけるフェムテック導入の可能性を検討します。

視点③ （株）北陸銀行の女性活躍・フェムテックへ取り組みについて

辻本 清美 氏（株式会社北陸銀行 人事部 ダイバーシティ推進室 室長）

女性特有の健康課題による労働損失等の経済的損失額は、社会全体で約 3.4 兆円に上るとも言われています。今回改めて DE&I（多様性・公平性・受容性）について職員全員からの意見を吸い上げ、企業として「従業員の求めているもの」「何ができるか」「コミュニケーションにおける心理的安全性」について考えた取り組みについて紹介します。

視点④ 金沢大学 & 芝浦工業大学学生コラボプロジェクト：プレゼンティズムの性別差の探索

平田 貞代（芝浦工業大学 准教授、北陸フェムテックネットワーク 会長）

私たちは AI モデルを応用し、大学生の学業や社会人の仕事におけるパフォーマンスに関する体調不調による影響や性別差の推定を試みています。大学間や学生と社会人のコラボレーションによるダイバーシティを通じて、異なる視点に基づく課題をひろいあげ、その相互理解を進めます。このプロジェクトを通じて、フェムテックの適用について多様な立場から考察した結果を中間報告します。

15:55～16:00（5分）

閉会あいさつ：福井 聡（北陸フェムテックネットワーク事務局長）

北陸フェムテックネットワーク（HFN）とは？

フェムテックを通じて女性の健康課題や社会課題の解決に取り組み、誰もが活躍しやすい社会と新たな産業の創出を目指す、北陸発の産学官医民商連携のネットワークです。《北陸から日本全国へ、日本全国から北陸へ、フェムテック産業振興と誰もが活躍しやすい社会の構築を目指す》ことをビジョンとし、地域の技術や知見を活かしながら、フェムテックの普及と社会実装を進めています。2026年8月現在、83の企業・団体・個人が入会しています。



フェムテックとは？

フェムテック（Femtech）とは、Female（女性）と Technology（技術）を組み合わせた言葉で、月経、不妊、妊娠・出産、更年期など、女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスなどを指します。（経済産業省）

事務局：北陸産業
活性化センター HP北陸フェムテック
ネットワーク HP北陸フェムテック
ネットワーク
インスタグラムFollow
me!